

ふくしま 子ども・女性医療支援センター

福島の女性が安心して子どもを産み、育み、健康な一生を過ごせることをめざして



安心して子どもを産み、 育てられる福島県へ

福島県は、慢性的な医師不足や医師の偏在を解消するために、福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置し、県内への医師定着を促進する事業を展開してまいりました。

しかしながら、本県の医療事情、とりわけ周産期医療は依然として厳しい状況下に置かれています。 このような状況を打破するため、県の委託を受け、平成28年4月、福島県立医科大学に「ふくしま 子ども・女性医療支援センター」が開設されました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例のない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、 妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の 医療に携わる医師の養成を支援していきます。

福島県の小児科医療・産婦人科医療への センターの関わり



福島県に住む女性が健康な一生を過ごすための医療支援をしながら、安心して子どもを産み、育てる環境をつくります

地域医療支援

県内拠点病院に対し、医 師派遣を通じて診療、支 援を行うことで、県内の 子ども・女性医療水準の 向上を図ります。

人材育成

福島県立医科大学小児科 学講座・産科婦人科学講 座と連携し、子どもと女 性の医療に携わる医師を 養成します。

小児科医・産婦人科医の招へいと定着とともに、 小児科と産婦人科が連携し、女性の一生を通した 診療体系を構築します。

育児環境の整備

- ・発達障がい児の早期発見、保護者や 支援者への支援
- PICU における高度診療



全国から著名な臨床医、研究者 を招へいし、定期的に研修会等 を実施します。

研究指導

優れた医師は優れた研究者であ るとの考えに基づき、研究立案、 学会発表、学術論文作成などの 指導を行います。

思春期

妊娠の 前段階

妊娠 出産 子育て

女性の一生を通じた健康支援

分娩環境と産科救急体制 の整備

- ・母子医療センター等への医療支援
- ・MFICU、NICU の体制強化

女性に特有な疾患の 予防と治療

- 女性のヘルスケア
- がん予防、高度診療

サクセスフル・エイジング の支援

更年期医療の充実

更年期 • 老年期

・退行期疾患の予防、治療

小児科学講座、産科婦人科学講座と連携し、 優れた小児科医、産婦人科医の育成を支援します

不妊症の診断、治療

小児科 専門医 養成プログラム

1年次

遺伝医療と生殖医療の充実

・臨床遺伝専門医、指導医などの育成支援

大学病院にて、未熟児・新生児グループ、集中治療グルー プ、循環器グループ、感染症・神経グループ、血液・腫瘍 グループ、腎・アレルギー・代謝グループをそれぞれ3カ 月間回り、各グループで主治医として入院患者を受け持つ。 頻度の高い疾患について、診断および治療学を学び、基 本的な医療面接、診察、検査、治療、指導法を修得する。 小児科地方会で発表する。

2年次

前半は 1 年次に引き続き、大学病院にて、各グループを 回りながら、基本的な医療面接、診察、検査、治療、指 導法を修得する。後半は、大学病院あるいは関連病院にて、 プライマリケア、小児救急医療、未熟児・新生児医療な どの経験を重ねる。全国学会で発表する。

3年次

関連病院にて、頻度の高い疾患や小児救急疾患については、 主治医として多数の患者を受け持ち、一般小児医療の経験 を重ねる。また、指導医のもと、未熟児・新生児医療、特 殊専門医療などを体得する。全国学会で発表する。

4 年次

関連病院にて、それまでの経験を活かし、主治医として 多彩な患者を受け持つとともに、初期研修医や 2-3 年 次の後期研修医の指導も行う。小児医療全般についての 広い知識と経験を背景に、各種健診や母子保健指導など の小児保健活動を実践する。小児科専門医を取得する。

サブスペシャリティ 専門医養成

キャリア形成 のサポート

キャリア形成 のサポート

ふくしま子ども・女性医療支援センター

産科婦人科 専門医 養成プログラム

1年次

産婦人科の基本診療(大学病院並びに関連病院にて研修) **産 科:** 正常分娩 (100). 異常分娩 (20) 帝王切開術執刀 (30)、子宮内容清掃術 (10) 婦人科:腹式単純子宮全摘術執刀(10)

2年次

産婦人科の基本診療 (関連病院にて研修) **産 科:** 正常分娩 (200). 異常分娩 (20)

帝王切開術執刀(50)、子宮内容清掃術(20)

婦人科:腹式単純子宮全摘術執刀(20) 婦人科悪性腫瘍術の助手(10)

学会発表(福島県産科婦人科学会・東北連合産科 婦人科学会・北日本産科婦人科学会)

関連病院並びに大学病院研修 研究テーマ選択(腫瘍学、内分泌学、不妊症、胎児生理学、 子宮筋牛理学)

学会発表 (日本産科婦人科学会)

- **産 科:** 正常分娩 (100)、異常分娩 (20)
- 帝王切開術執刀(50)、子宮内容清掃術(20) 婦人科:腹式単純子宮全摘術執刀(20)

腹腔鏡手術執刀 (30)

4 年次

大学病院研修 積極的に海外学会にて発表

サブスペシャリティ 専門医養成

3年次

専門医取得を目標 研究テーマ別に研究・発表

():本学の研修プログラムで経験できる年間症例数

センタースーパーバイザーおよび教員



吉村 泰典 福島県立医科大学副学長 ふくしま子ども・女性医療支援センター スーパーバイザー (非常勤)

生殖医学、周産期医学、生命倫理 ■研究テーマ・成果 生殖生理学、再生医学、生殖内分泌、発生生物学 2007年 日本産科婦人科学会理事長 (2011年まで) 2010 年 日本生殖医学会理事長 (2014 年まで)

2011年 日本産科婦人科内視鏡学会理事長 (2015年まで) その他数多くの学会理事歴任 2013年 一般社団法人吉村やすのり生命 (いのち) の環境

2013年 内閣官房参与 (少子化対策・子育て支援担当)





水沼 英樹 センター長 (常勤)



横山 浩之 教 授 (堂 勤)

子どもの行動異常(発達障害、 精袖障害) とそれに関わる教育・

研究所代表理事

日本てんかん学会専門医

マンガでわかるよのなかの ルール」「マンガでわかる魔 法のほめ方PTI (科研費基盤 (C)20592571.23593282 による)

臨床遺伝学、周産期医学

日本産婦人科学会専門医・

周産期 (母体・胎児) 専門医・

日本病院会認定診療情報管理士

日本産科婦人科学会専門医

日本婦人科腫瘍学会専門医

婦人科腹腔鏡下手術、婦人科腫瘍、医学教育

日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医・幹事

日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医(腹腔鏡)

日本内視鏡外科学会技術認定 (産婦人科領域) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

国際メンターシップ協会アソシエートメンター

新潟大学医歯学総合病院 産科婦人科

臨床遺伝専門医・指道医

岩手医科大学医学部

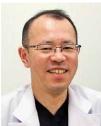
指道医

福島 明宗 特任教授 臨床遺伝学科

(非常勤)

磯部 真偏 特任講師

(非常勤)



髙橋 俊文 教 授 (常 勤)

清水 直樹 特任教授

(非常勤)



日本生殖医学会生殖医療専門医 日本産科婦人科内視鏡学会技術 認定医(腹腔鏡・子宮鏡) 日本内視鏡外科学会技術認定者 (産婦人科領域) 日本内分泌学会内分泌代謝科 (産婦人科) 専門医・指導医

救急医学、集中治療医学、

小児科学、蘇生科学

日本救急医学会専門医

日本 DMAT 隊員

救命・集中治療部

医師免許

医学博士



太田 邦明 講師 (常勤)

月経異常の治療法の開発に関する研究 骨粗鬆症の早期発見、早期治療に関する研究 安全性を指向したホルモン補充療法の研究 日本女性医学学会前理事長 その他複数の学会の理事歴任

■主な社会活動 日本医療研究開発機構女性の健康の包括的支援実用化研究事業 プログラムオフィサー

> ■専門分野 生殖内分泌(生殖医学・女性医 学)、生殖外科

福島県内における放射線被曝と 生殖アウトカムに関する疫学的研究 がん治療後患者への人工卵巣の 開発と移植技術の確立

日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本内分泌学会専門医・指導医 日本産科婦人科内視鏡学会技術 認定医 (腹腔鏡) 日本内視鏡外科学会技術認定医 (産婦人科領域) 日本女性医学会へルスケア専門 日本抗加齢医学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治 療認定医

周産期救急、婦人科内視鏡下手術

日本産科婦人科学会専門医

AISO 認定インストラクター

NCPR 認定インストラクター

日本 DMAT 隊員

白河厚生総合病院

指道医

日木隼山治療医学会専門医 日本小児科学会専門医・指導医 **鈴木 大輔** 特任講師 ^{產婦人科}



東京都立小児総合医療センター





新津 健裕 特任講師

集中治療医学、小児科学、Critical Care Outreach 日本集中治療医学会専門医

日本小児科学会専門医・指導医 PALS インストラクター

埼玉県立小児医療センター 集中治療科

(非常勤)



本村 誠 特任助教 (非常勤)

センター教員の日常



水沼センター長

昨年、ホルモン補充療法 (HRT) 外来を附属病院内に立ち上げ、 性差医療センター長で漢方療法が専門の小宮ひろみ教授と一緒に診 療を行い、両療法の優劣を競って(?)います。熱心に診察を見学す る後期研修医(マスクの男性)。



鈴木特任講師

生殖医療センターで不妊外来、産婦人科で新患外来を担当してい ます。福島県で生殖内分泌領域の臨床、研究を一緒にやってくれる 仲間を募集中です。ふくしまからはじめよう生殖医療。



髙橋教授

腹腔鏡手術を得意としています。産科救急のシミュレーションコー スでインストラクターとして活動しています。産婦人科の救急疾患に ついての学生講義も行っています。



本邦初の顕微受精を成功させた"伝統ある"福島県立医科大学生 殖医療チームのメンバーに加わることができました。これまでの伝統 の継承と新たな伝統の構築を目指して研究活動もしております。大都 会で疲れた"あなた"、研究生活を充実させたい"あなた"、復興支 援をしたい"あなた"、私たちの仲間になりませんか。



横山教授

発達障害や行動異常がある子どもの早期発見・介入のシステム作り がミッションです。学生教育はもちろん、地域の基幹病院での診療を 地域の先生方に見学していただいています。また、行政や教育、小 児保健との連携を模索しています。





産婦人科臨床実習講義において、出生前診断を含めた「臨床遺伝 学 | の講義を行なっています。また産婦人科遺伝外来において新型 出生前診断 (NIPT) に関わる遺伝カウンセリングを担当しています。



磯部特任講師 (写直中央)

婦人科腹腔鏡手術を専門とし、福島県立医大で腹腔鏡下悪性腫瘍 手術の立ち上げをお手伝いしております。医学教育も得意であり、 学生教育やリクルートなどでもお役にたてればと思います。

小児特定集中治療室 (PICU)



県内初の PICU として、平成 29年4月から稼働を開始しました。 救命救急センター・特定集中治療室ならびに学内診療各科と協力しつ つ、充実した設備で診療しています。県内・近隣県の重篤小児緊急 ヘリ搬送・PICU 医師派遣等も検討しています。新たな領域である小 児集中治療の魅力を学生・研修医の皆様にお伝えしつつ、学問として の確立を目指します。



5



(非常勤)

集中治療医学、麻酔科学、小児科学

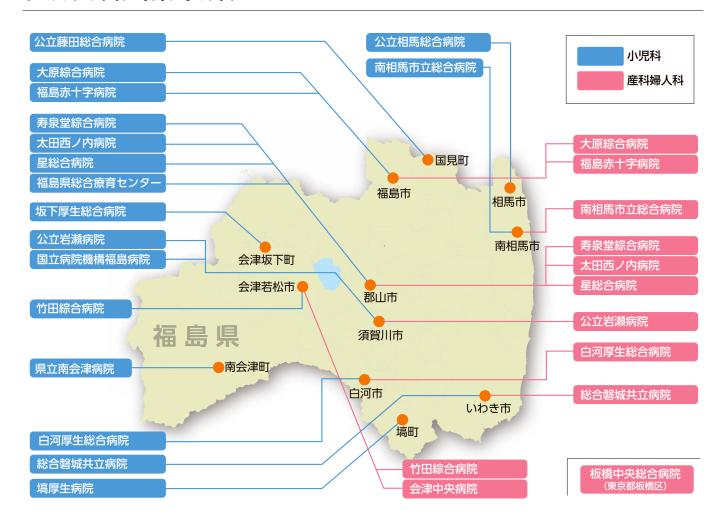
麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定医 日本集中治療医学会専門医

日本小児科学会専門医・指導医

東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 集中治療科



後期研修協力病院



福島県立医科大学附属病院では、 従来にも増して、子ども・女性医療に 力を入れていきます。

平成 28年 12月に「ふくしまいのちと未来のメディカルセンター 棟(みらい棟)」が完成し、小児科、産婦人科関連診療科が集約 され、こども医療センター、総合周産期母子医療センターを中 心とした医療体制が整備されました。

また、この建物では国内最大規模の RI 内用療法施設を備え、

がんの早期発見、早期治療 を行うほか、救急医療や災害・ 被ばく医療にも注力し、高度 医療サービスの充実を図って いきます。





みらい棟 エントランスホール

壁画は、『草花が芽吹き、新しいいのちが生まれる春。キビタ キの森でも長い冬が終わりを告げ、あたたかな春風が吹きはじめ、 キビタキ達も春の訪れに喜び、森を飛びまわり、小鳥たちも自分 で飛ぶのが上手くなってきた。』そんな喜びに満ちた福島の春の 森の風景を表現しています。